

業務部速報



No. 75

発行 25. 2. 28

JR東労組 業務部

速報

申12号 2025年度賃金引上げ等に関する申し入れ
申13号 2025年度夏季手当に関する申し入れ

2月28日 第2回交渉を行う No.3

一営業職場の労働実感を訴える！

■融合と連携、統括センター化

複数駅勤務で覚えることが増えるだけで、賃金にも反映されなければ、業務量と精神的ストレスが増えただけ／他駅勤務も多く、自駅で抱えている業務もなかなか進まない。融合と連携が難しい／一人でたくさんの担務をやる必要がある／苦労だけでなく精神的ストレスを感じながらも不慣れな業務をしている現実を会社は認識しているのか！など…

-現場の奮闘や努力をキチンと評価し、しっかり受け止めるべきだ！

■異常時対応

大雪での輸送障害による異常時対応は、例年にないもの。各地、各駅で大変苦労している／「これだけ苦労して、必死に案内したのに、払戻がたくさんあるから夏季手当は出せませんなんて言われたら、こんな現場を見ない会社なんて辞めてやる！」「これだけ毎日のように謝り続けて、休憩もまともに取れなくて、去年よりもボーナス少なかったら辞めてやりたい」という声も出ている／会津若松地方では記録的な大雪で出勤すること自体に苦慮している。除雪のために超勤し、運転再開を目指して除雪を必死に行ってきた！など…

■要員不足

要員不足の中、複数担務や企画業務、委員会活動、増加する旅客トラブル対応で精神的にも肉体的にも疲弊している／人が居ない。休出は当たり前、月3徹も当たり前。業務の合間や終了後に企画の仕事をこなしている。企画したイベントや訓練当日は明けで参加／本来副長がやるべき勉強会も一般社員で回している。など…

■インバウンド、キュンパス

対応に苦慮しながらも、工夫して対応している。今後さらに増えるインバウンド対応も踏まえて、組合員・社員の努力に報いる必要がある／キュンパスは2月13日から利用開始となり、発売状況は昨年を上回ることが見込まれる／忙しいだけ忙しくて、利益が上がらないから賃金や手当に還元できないとするならば、働き損でしかない！など…

主な会社回答

努力に感謝を申し述べる／努力が持続的成長に繋がり、社員還元につながるように取り組んでいく／意見を会社として受け止めながら慎重に判断したい



一検修職場の労働実感を訴える！

■検修職場はそもそも賃金が低い

(1年目)若手同級生と比べ給料が低く恥ずかしい思いをした／(中堅)友人と話をしている、恥ずかしくて給与が言えなかった。それでも、安全・安定輸送を確保するために、苦労をして鉄道の安全が保たれていることを経営はわかってほしい／検修は、ペアと定昇と期末手当しかない！など…

-検修職場の悲痛な声を受け止めるべきだ！

■検修職場の労働実感

要員もいない中、1人2役3役と業務が増えている。そういう苦労に報いて欲しい／第1回交渉を聞いて、努力がまた報われないのかと感じる。ちゃんと私たちの働きを見て欲しい。様々なことをやらされ続けもう限界だ。賃金で報いるべきだ／技術継承がうまくいってなく、経験が長い人に全てが頼られている。しかし、検修は賃金が低く、賃金が見合っていないのでやる気が削がれてしまう。賃金が低くモチベーションを上げる術がない／労働実感だけが高まり、疲弊感だけが募るこの現実をわかっているのか／組織再編で契約業務が現場にきた。しかし職場に誰も聞ける人がいない中、本当に苦労して業務を担ってきた。この努力を認めて欲しい。など…

主な
会社回答

有価証券報告書で平均年収は700万をこえている。他社と比べ著しく劣っていない／車両の職場は非常に重要な職場だ／しっかりと新賃金と夏季手当は声を踏まえた上で検討したい

時間の都合で他の系統の労働実感や生活実感、モチベーション、その他要求に関わる議論は次回交渉で行います。